

# 科学部だより Science Club News

## 8 月



### ● 科学部独自のハリヨ生息数調査 (7/22)

昨年度より、県より正式な許可をとり、科学部独自のハリヨ生息数調査、および生息地の環境調査を行っております。前回までの調査では自作のペットボトルを用いた罠で捕獲調査を行っていましたが、水に流されて正確な調査ができなかったため、今回より市販の捕獲器を使用しました。結果は下記のとおりです。調査する月によりもちろん水温は変化しますが、その水温に沿ったハリヨ生息域の変遷がみられます。長い期間の継続した調査により法則性を発見できたらと思います。

	地点 1	地点 2	地点 3	地点 4	地点 5	地点 6
水温(上層)	18.2	19.2	18.3	18.1	17.5	19.1
水温(下層)	17.1	17.8	17.5	17.2	17.2	17.8
生息数	1	32	11	0	1	0
平均体長	5.2	2.2	1.5	-	1.0	-
COD	2	ND	ND	8以上	4	8以上
アンモニア	0.2	0.2	0.5	1.0	1.0	0.5

### ● 合同調査に向けた準備 (7/31)

8月9日に行われる池田町ハリヨを守る会との合同生息数調査に向けた準備をしました。ハリヨを守る会の生息数調査では投網を用いるため、その障害となるハリヨ池の防鳥ネットの撤去、および藻の狩り取り作業を行いました。胴付長靴を着用した生徒が高校生の若さを生かし、率先して水中に入り作業を行い、地元の方々から頼りにされていました。





### ● ハリヨを守る会との共同生息数調査（ 8 / 9 ）

今年で参加するのが3回目になります。今までの活動で信頼を頂けたのか、カウント作業は殆ど池高生に任せていただきました。3年生と2年生は手順が分かっているので、夏の高温に弱いハリヨを素早くカウントします。1年生は直ぐにハリヨとその他淡水魚を見分けることができないので、先輩が丁寧に教えていました。

今年の生息状況は昨年よりも多く、活動が実を結んでいるのが分かりました。ただ、座談会において岐阜経済大学の森教授より水草が繁茂しており、ヘドロの蓄積が目立つとの指摘がありました。科学部としてできることを考えて実行していきたいと思います。科学部からは昨年度発見した、他地区からの魚類の放流による悪影響について質問をしました。



### ● 自然観察会（ 8 / 10 ）

今年度は中津川の鉱物博物館の見学と、夕森公園における散策を行いました。

鉱物博物館では活断層や地盤の移動について学び、また鉱物のでき方の違いを学びました。その後鉱物博物館敷地にてストーンハンティング（水晶探し）を体験しました。

午後からは夕森公園の散策を生物相調査委員の先生のガイドで行いました。全員が木曾五木（ヒノキ・アスナロ・コウヤマキ・ネズコ・サワラ）の同定ができるようになり、また様々な有用植物について学びました。

